

2024年1月24日

ベトナムタイビン省における LNG to Power プロジェクトの事業性評価に向けた合併会社の設立

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、ベトナム企業であるチュオン・タン・ベトナム・グループ（会長：ダン・チュン・キエン、以下「TTVN」）、株式会社キューデン・インターナショナル（社長：柚須 亮太郎、以下「KIC」）と、ベトナムタイビン省における LNG to Power プロジェクトの事業性評価に向けた合併会社タイビン・LNG・パワー・ジョイントストックカンパニー（以下「TBLP」）を設立しました。

TBLP は、ベトナムタイビン省タイトウイ地区における、浮体式 LNG 受入基地^{*1} および天然ガス火力発電所（発電容量：150 万 kW）の開発・建設・運営、LNG 調達、ベトナム電力公社への売電を行う LNG to Power プロジェクト^{*2}（以下「本プロジェクト」）の事業性評価を実施します。事業性評価では、経済的合理性・技術的実現性を踏まえた検証、EPC^{*3} 事業者選定、LNG 調達計画の策定等を実施し、2029 年までの商業運転開始を目指します。

なお、東京ガスグループが手掛けるベトナムでの LNG to Power プロジェクトは、クアンニン省における陸上 LNG 受入基地および天然ガス火力発電所プロジェクト^{*4}に続いて 2 例目となります。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において「LNG バリューチェーンの変革」を掲げています。今後もこれまで蓄積してきた経験・ノウハウを活かし、本プロジェクトを含めた LNG インフラ事業の拡大を通じて、アジア諸国の発展と低炭素化・脱炭素化に貢献するとともに、東京ガスグループの経営ビジョン「Compass2030」で掲げる海外事業の利益目標 500 億円^{*5}に向けて取り組んでいきます。

*1：洋上に係留固定された LNG 船に再ガス化設備を搭載した LNG 受入基地（Floating Storage & Regasification Unit）

*2：ガス火力発電の燃料である LNG の調達、気化から発電まで一貫して行うプロジェクト

*3：設計・調達・建設（Engineering, Procurement and Construction）

*4：[ベトナムにおける LNG to Power プロジェクトの事業性評価に向けた合併会社の設立（2022年11月4日発表）](#)

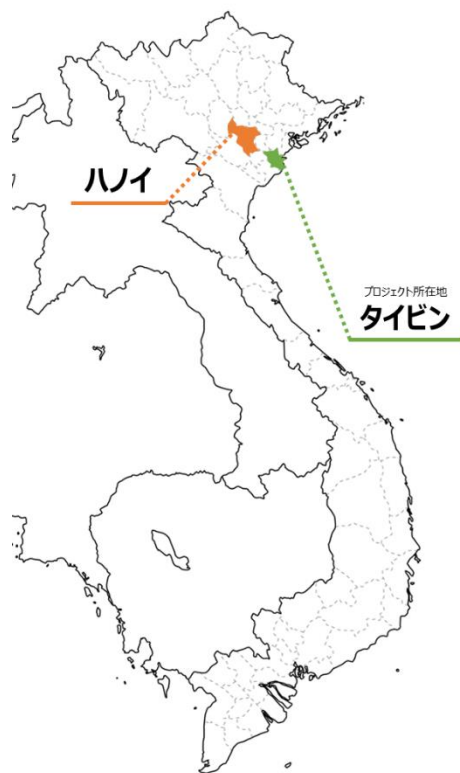
*5：営業利益+持分法利益

■ TBLP の概要

会社名	タイビン・LNG・パワー・ジョイントストックカンパニー（Thai Binh LNG Power Joint Stock Company）
設立	2024年1月23日
所在地	ベトナム社会主義共和国 タイビン省
事業内容	LNG 受入基地および天然ガス火力発電所に関する建設・運営等

<参考>

■プロジェクト所在地



■TTVNの概要

会社名	チュオン・タン・ベトナム・グループ (Truong Thanh Viet Nam Group)
会長	ダン・チュン・キエン (Dang Trung Kien)
設立	2012年12月
所在地	ベトナム社会主義共和国 ハノイ市
事業内容	電力事業開発・不動産開発 他

■KICの概要

会社名	株式会社キューデン・インターナショナル (九州電力株式会社 100%子会社)
社長	柚須 亮太郎
設立	1999年8月
所在地	福岡県 福岡市
事業内容	海外エネルギー事業・海外コンサルティング事業 他

以上